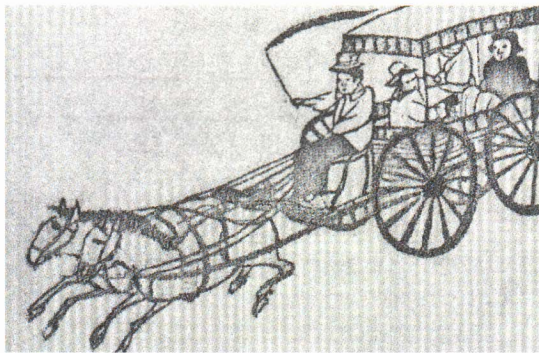
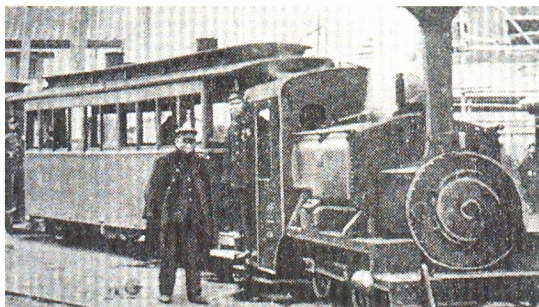


(3) 交通機関や道路のうつりかわり

○のりもののうつりかわり



▲トテ馬車 (川俣・松川間 明治39年)

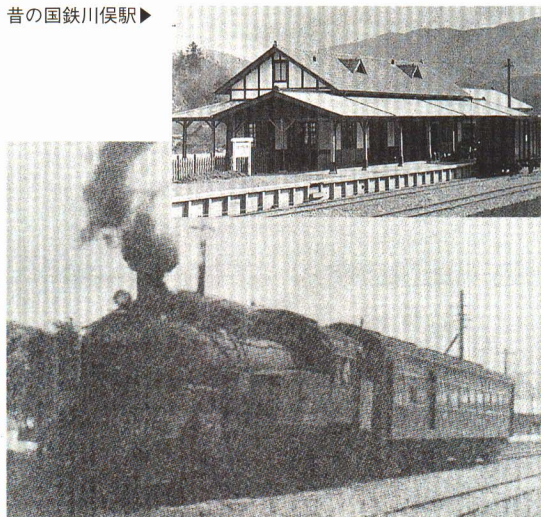


▲けいべん鉄道 (川俣・保原・福島間 明治44年)



▲川俣のり合自動車 (川俣・松川間 大正8年)

昔の国鉄川俣駅▶



▲国鉄・川俣線 (川俣・松川間 大正15年)



▲戦時中 (昭和18~24年) は木炭車が走った

川俣線46年間のあゆみ

- | | |
|------------|------------------------|
| 明治39年5月 | 川俣松川間の調査はじまる |
| 大正13年3月 | 富田村の川俣駅で工事はじめの式がおこなわれる |
| 〃 15年1月 | レールしき終わる |
| 〃 15年3月1日 | 川俣線開通 |
| 昭和18年8月 | 戦争のためはいしとなる |
| 〃 21年7月 | 戦争が終わりふたたび汽車が走る |
| 〃 47年5月13日 | さよなら列車が走る |
| 〃 47年5月14日 | 新しく国鉄バス (川俣-松川間) が走る |



▲国鉄・川俣線はいし (昭和47年)



時代によつてのりものもかわつてきているね。